

協定留学近況報告書

記入日	2018年 11月 3日
留学先大学	ミーコラス・ロメリス大学
留学先での所属学部等	<input type="checkbox"/> 特定の学部・研究科等に所属している(以下に学部等名を記入) ※学部等名(日本語): _____, (現地言語での名称): _____ <input checked="" type="checkbox"/> 特定の学部等に所属せず様々な学部等の授業を履修している。 <input type="checkbox"/> その他: _____
留学期間	2018年9月－2019年6月
明治大学での所属	政治経済学部 経済学科 国際政治専攻 / _____研究科_____専攻
学年(出発時本学での学年)	学部3年生 / 研究科 <input type="checkbox"/> 博士前期課程 <input type="checkbox"/> 博士後期課程 _____年生

I. 出発前にどのように情報を集め、準備をしましたか。しておいて良かったこと、準備不足だったこと、ぜひ次の学生に準備としてアドバイスしたいことを記述してください。

最低限の情報しか集めませんでした。留学先に着いてからのオリエンテーションについてや現地のメンターと連絡を取っていました。行く前に交通機関の情報はしっかりと調べてから行った方がいいと思います。

II-1. 留学のための渡航前手続き(留学ビザ)

ビザの種類: 学生ビザ(D)	申請先: 在日ドイツ大使館
ビザ取得所要日数: 22 日間 (申請してから何日/週間要したか)	ビザ取得費用: 大使館から自宅までの郵送費用

ビザ取得のためにどのような書類の提出が求められましたか？また、どのように手配しましたか？

10年以内に発行されたパスポート(滞在期間+3ヶ月以上あるもの)
 3ヶ月以内に撮影されたカラー写真(3.5cm × 4.5cm)※写真サイズの確認
 ドイツの大学による招聘状(駐日ドイツ大使館でDビザ申請するために必要であることを事前に伝え発行してもらうこと)
 日本の所属大学による所属証明書(英文)
 滞在期間をカバーする健康保険の証明書(英文。死亡・疾病・事故等生命に関わる項目は1項目につき最低5792ユーロの保障が必要)
 本人名義の銀行口座の英文残高証明書
 航空券または航空券の予約確認書
 記入された申請書

具体的な申し込み手順を教えてください。

大使館にメールで面接予約→大使館にて面接→パスポートを自宅へ郵送してもらう

ビザ取得の際に、留学先国大使館で面接のあった方は、どのような質問を受けましたか？

何を勉強するかなど

ビザ取得に関して困った点・注意点

大使館に送ったメールの返信が遅く困った。

II-2. 留学のための渡航前手続き(その他の事前準備について)

その他済ませておくべき準備があればお書き下さい(現地での現金調達準備, 携帯電話購入, 荷物運送など)

携帯電話は現地の格安SIMを使うのが良い。現地にある古着で洋服は揃うので、サイズ感が難しいジーンズや、ヒートテック以外はあまり持っていなくてよし。

Ⅲ. 現地到着後のながれ

1. 到着時の様子

利用航空会社	LOT POLISH 航空			
航空券手配方法	HIS の店頭で購入 ※利用した旅行社・旅行サイト、格安航空券情報等があれば記入して下さい。			
大学最寄空港名	ヴィリニユス国際空港	現地到着時刻	18:20	
キャンパスへの移動手段	<input type="checkbox"/> 大学手配の 出迎え	<input type="checkbox"/> 知人の 出迎え	<input type="checkbox"/> 公共交通機関 (<input type="checkbox"/> バス <input type="checkbox"/> 電車)	<input checked="" type="checkbox"/> タクシー <input type="checkbox"/> その他
移動の所要時間	約 1 時間			

空港からキャンパスへの移動の際の注意点、タクシー・公共交通機関で移動する際の行き方、料金等

バスで1ユーロのチケット購入可能(国際学生証を持っている場合 0, 5 ユーロ)、Uber の初回割引を使うのがお勧め

大学到着日 8 月 27 日 15 時頃

2. 住居について

到着後すぐに住居 入居できましたか？	<input type="checkbox"/> はい <input checked="" type="checkbox"/> いいえ	いいえを選んだ方: 8 月 27 日から入居可能だった。	
住居のタイプ	<input checked="" type="checkbox"/> 寮	<input type="checkbox"/> アパート	<input type="checkbox"/> その他()
部屋の種類	<input type="checkbox"/> 一人部屋	<input type="checkbox"/> 二人部屋	<input checked="" type="checkbox"/> その他(3 人部屋)
ルームメイト	<input type="checkbox"/> 日本人学生	<input checked="" type="checkbox"/> 他国からの留学生	<input type="checkbox"/> その他()
住居を探した方法	<input checked="" type="checkbox"/> 大学の斡旋	<input type="checkbox"/> 自分で探した	<input type="checkbox"/> その他()
住居の申込み手順	大学出願の際に希望を出す。		

住居は渡航前に、また渡航後すぐに見つかりましたか？トラブルはありましたか？

場所は少し分かりづらかったが、多くの留学生が寮の前にいたのですぐ分かった。

3. 留学先でのオリエンテーションについて

オリエンテーションの有無	<input checked="" type="checkbox"/> あった <input type="checkbox"/> なかった
日程	27 日～2 日
参加必須ですか？	<input type="checkbox"/> 必須 <input checked="" type="checkbox"/> 任意参加
参加費用は？	<input checked="" type="checkbox"/> 無料 <input type="checkbox"/> 有料(金額:)
内容と様子は？	多くの留学生が聞きに来ていた。最初は不安な事が多いはずだから行った方がいい。
留学生用特別ガイダンス	<input checked="" type="checkbox"/> あった <input type="checkbox"/> なかった
授業開始日	9 月3日から

Ⅳ. その他、渡航してから必要な手続きについて

1. 現地で滞在許可等の申請の必要はありますか？いつ、どこで、方法は？日数、料金は？トラブルは？

ない。

2. その他現地でした手続きは？(健康診断、予防接種等)いつ、どこで、方法、日数、料金は？トラブルは？

国際学生証を作るぐらい。

3. 現地で銀行口座を開きましたか？手続方法、必要書類、日数、料金は？トラブルは？

作らなかった。

4. 現地で携帯電話を購入しましたか？手続方法、必要書類、日数、料金は？トラブルは？

購入しなかった。格安 Sim で十分。

V. 履修科目と授業について

1. 履修登録はいつどのような形で行いましたか？

出発前に(5月31日頃)

オンラインで登録 志願書類に記入して登録 できなかった その他()

到着後に(月 日頃)

オンラインで登録 国際オフィス等の仲介 できなかった その他()

登録時に留学生として優先されることは

あった

なかった

優先が「あった」方はどのように優先されましたか？

優先が「なかった」方はどのように登録しましたか？

母国語がロシア語なので基本的に英語の授業履修者は留学生が中心。

出発前に授業を登録した方は、現地で変更・追加できましたか？また希望通りの授業が取れましたか？

変更・追加可能。1科目授業自体がキャンセルになってしまったのと、授業の被りが多く最初は時間割を作るのが難しかったが、希望した授業はすべて履修できた。

VI. 一週間のスケジュール 授業時間、課外活動、勉強時間等、毎日の生活について記入してください。

	月	火	水	木	金	土	日
7:00							
8:00							
9:00	授業						イベントに参加
10:00	授業				勉強		
11:00	授業	授業			勉強		
12:00	授業	授業			勉強		ショッピングなど
13:00	授業	授業					
14:00	授業	授業				勉強	
15:00						勉強	
16:00	授業	授業	授業	授業		勉強	
17:00	授業	授業	授業	授業	友達と遊ぶ		勉強
18:00			授業	授業	友達と遊ぶ		勉強
19:00	課題の勉強	課題の勉強	スーパーに行く		友達と遊ぶ		勉強
20:00	課題の勉強	課題の勉強			友達と遊ぶ		
21:00	課題の勉強	課題の勉強					
22:00							
23:00							
24:00							

VII. 現在までの感想

留学先大学、プログラムについて、授業、宿舎、生活全般についてなど、自由に書いてください。

リトアニアと聞いて多くの人が思い浮かべるのは杉原千畝ではないでしょうか。リトアニアは杉原千畝がナチス・ドイツの迫害から逃れてきた難民にビザを書き 6000 人もの人々の命を救った日本とも関わりの深い場所です。そしてリトアニアの独立の歴史は自由と民主主義の大切さを教えてくれます。大学の交換留学の枠にこの国がありこんなにも深くリトアニアについてバルト三国について学ぶ機会を得られた事を嬉しく思います。ミーコラス・ロメリス大学の交換留学生は主にヨーロッパ圏の学生が多く、留学生の英語レベルはとても高く刺激の多い毎日を送っています。

大学では主に政治学を学びながらも文化や人権についての授業も履修しています。EU についての授業ではリトアニアの歴史から EU の議会についてなどを学んでいます。セミナーでは課題で与えられた問いに関して積極的に生徒が発言していきます。はじめは他の留学生に圧倒されていましたが、自分の考えをはっきりと英語で表現することの重要性を再確認し自分の意見を固めてから授業に参加するように努力しています。

東アジアについての授業では様々な観点からアジアについて学んでいます。毎回教授が変わるため授業の雰囲気もそれぞれ異なり大変面白い授業です。その授業ではヨーロッパの学生がアジアの政治や経済に大変興味を持っていることが分かりました。授業が終わったあとに友達からあなたはどう思うのか尋ねられることもあります。ヨーロッパの政治について勉強するだけでなく、ヨーロッパにいるからこそアジアについてさらに学び周りの学生と意見を交換することはとても大事だと思います。これからエッセイを書くのでそこで今までの授業で学んだことを踏まえて論理的な文章を書きたいと思っています。

International protection of Human Rights の授業では人権について学んでいます。ヘイトスピーチや宗教に対しての差別などヨーロッパの人権に関する考え方には前から興味を持っていたのでこの授業を履修しました。法学部の専門性の高い授業なので理解するのが大変ですが、教授が投げかける質問に対して生徒が自分自身の考えを話してそれに対して思った事や他の考え方などを他の生徒が発言するようただ聞いてだけではなく自分の意見を話す事を大切に授業はとても面白いです。例えばヘイトスピーチなのか表現の自由なのかについての議論では生徒によって考え方が大きく違いました。ファッションショーに関するポスターで宗教的な恰好をアレンジするのは良くない事なのか、教会でダンスをしながら踊るミュージックビデオは法的に許されるのかななどを議論しました。様々な国の留学生がいるからこそ知ることのできる事は多くありとても刺激的です。

そして独学でリネン生地について学んでいます。私は物心ついた時から洋服が好きでした。お気に入りの洋服を着るだけで暗い気持ちも明るくなったり、友達から洋服を褒められるとそれだけで 1 日幸せでいられたり、また大事な時に気を引き締めてくれる役割も洋服は持っています。そんな衣食住のうちの大事な要素である衣について興味を持ち大学でもファッション産業について学びました。そこで私は今の過酷な労働環境の存在、大量生産、大量廃棄の事実を知りとても衝撃を受けました。たしかに安く質の良い服は人々の生活を豊かにしてくれます。しかし現在の生産構造を続けることは人々にとっても資源にとっても良くないと思います。そこでわたしはオーガニックの洋服やフェアトレードに興味を持ちました。作る人の思いが込められた長い間大切に着たいような、そして環境にも良い洋服作りに惹かれました。そして現在の生産構造は決して政治や経済と切り離して考えられるものではありません。リトアニアではセカンドハンドショップがたくさんあります。洋服は捨てずに他の人に着てもらおうという考え方が人々の間に浸透しています。そしてリトアニアは特にリネン生地で有名です。リネン生地のお店で実際に雑貨や洋服を見てとても興味が湧き、様々なお店を回ってお店の人に質問をしたりリネン工房やリネン博物館に足を運んでいます。丁寧に作られたリネン生地。丈夫で長く使えます。ナチュラルなのに上質感のあるリネン生地はとても魅力的です。

留学を通してその土地の歴史と文化に触れることはとても面白く自分の世界が広がります。母国語は分からない、友達も家族もいないという状態からスタートした留学生活を楽しく乗り越えることで自分の自信にも繋がります。そこで出会った友達とヨーロッパの国に旅行して様々な文化を目の前で感じる事が出来るこの貴重な経験を大事にしたいと思います。残りあと 8 ヶ月間は有意義に時間を使い臆することなく色々な事にチャレンジしたいと思っています。

留学先大学を目指す学生に向けてのアドバイスをお願いします。

留学は留学に行くまでがまず大変ですね。私は特に 2 つのサークル活動に、ゼミの活動、アルバイトをしながら成績の維持、資格試験の勉強をしていたので正直とても忙しかったです。行くまでは留学に行くという事がどういうものなのか分からずフワフワした気持ちでいました。現地に到着してからも最初の 1 か月は大変でした。母国語は知らない言語で、日本人は 3 人しかいない。しかしながら慣れてくるとどんどん楽しくなってきます。刺激のある授業に、ヨーロッパ旅行、友達とイベントやパーティーに参加したりとても充実した毎日を送れます。

留学はたしかに大変です。しかし私は今心から留学にチャレンジして良かった。あの時あきらめないで良かった、と思えています。来年またミーコラス・ロメリス大学に明治大学の学生が来てくれることをとても楽しみにしています。ヴィリニウスはとても素敵な街です。